

中原区

# 川崎市国際交流センター

東急東横線・東急目黒線「元住吉駅」下車徒歩約 10 分

エントランスホールの天井を見上げると、色とりどりの国旗が掲げられています。これらの国旗は川崎市と姉妹都市・友好都市・友好港のある国々のものです。中原区木月祇園町に位置する「川崎市国際交流センター」は言葉や民族、文化の異なる多くの世界の都市や市民との交流、協力を推進するため、学習と実践の拠点として 1994(平成6)年に建てられました。

## 11言語に対応！外国人窓口相談

2019(令和元)年7月末には「多文化共生総合相談ワンストップセンター」が開設されました。英語、中国語、韓国・朝鮮語、スペイン語、ポルトガル語、タガログ語、ベトナム語、タイ語、インドネシア語、ネパール語、やさしい日本語の 11ヶ国語に対応しています。日本人でも難しい「申請書類の書き方」「子どもの学校」「仕事を探したい」など様々な困りごとや悩みごとの相談に希望言語で対応しています。外国人市民の生活を親切に丁寧にサポートしています。

## 外国人市民による日本語スピーチコンテスト

毎年2月に10名前後の外国人が日本語でご自身の想いをスピーチします。昨年は台湾出身の張さんが大嫌いだっただ納豆を経済的理由から食べてみたら好きになってしまったという「納豆に教わったこと」やインドネシア出身のヘリヤニさんの国際結婚や日本語学校で苦労した経験を自己分析し語った「自分のペースで人生を旅しよう」が受賞されました。参加した皆さんのお話しはユーモアがあり心を動かされるものです。コロナ禍で一般の方々に会場で視聴していただくことが



が難しくなっていますが、オンライン配信もありますので、たくさん練習して日本語でスピーチする参加者の皆さんを応援してください。

## 国際文化理解講座では

2020年、チェコ・日本交流100周年では「チェコ文化とともにチェコガラスビーズアクセサリーの作り方」講座、2021年ドイツ・日本交流160周年には「ドイツ文化として観光・世界遺産・カーニバル・ワイン」について興味深い講座を開催していました。

また、災害時の多言語支援センター設置訓練ではロールプレイ形式で地域の人にも参加してもらい実施されました。

その他各国の料理、音楽、ダンスなどでも多文化に触れることができます。



プロムナード

### ▼チェコガラスビーズアクセサリー



### ▶ポリビアンダンス



©安田芳郎

## 皆さんに親しんでもらう場所に

コロナ禍により2020年から中止されている「国際ショナルフェスティバル」はセンターの一大イベントです。30ヶ国以上の国や地域に関わる外国人市民によるパフォーマンスや外国人と日本人との交流をまた再開できる日が待ち遠しいです。

「心豊かな国際交流、違いを認め合い、協力し合う多文化共生」のもと外国人市民、日本人市民両者に足を運んでもらえる場所に」とセンター野本総務課長は思いを語られていました。

## ～国際交流センターに行ってみよう～

### 茶室「木月庵」<sup>きつきあん</sup> 多文化の橋渡しや共生の場として

裏千家の設計による本格的な茶室で、風炉・炉・大炉の使用ができます。お道具の貸し出しも行っていきます。茶道の他、着付けや朗読会等の日本の伝統文化を通して、国際交流の場となっています。



### 「特別会議室・応接室」映画やドラマ、CMの撮影にも大活躍

各席にモニターやマイクが設置され、ニュースで見る国際会議場のような様子。「103才になってわかったこと」著者の美術家、故篠田桃紅氏の書が展示されています。



©安田芳郎

お申込みには「ふれあいネット(川崎市公共施設利用予約システム)」の利用者登録が必要です。どちらも有料施設です。

■川崎市国際交流センター 〒211-0033 中原区木月祇園町2-2  
(公財)川崎市国際交流協会 電話:044-435-7000(受付時間:午前9時から午後9時)

